

In der Nacht

Robert Schumann (1810-1856)

R. シューマン

4つの二重唱曲 Op.34

- ・愛の園
- ・恋する者のセレナード
- ・窓の下で
- ・家族の肖像

4つの二重唱曲 Op.78

- ・踊り歌
- ・彼と彼女
- ・あなたを想う
- ・長く病める子のための子守唄

スペインの歌遊び Op.74より 夜に

ミルテと薔薇の花を持って Op.24-9

きみは花のよう Op.25-24

さすらい Op.35-2

月の夜 Op.39-5

ことづて Op.77-5

献身の花 Op.83-2

Pianosolo

幻想小曲集 Op.12 第2部

- ・夜に
- ・寓話
- ・夢のもつれ
- ・歌の終わり

J. B. シュトライ デュエット シューマン

の世界 ヒヤールとともに

2018年2月14日 [水]

19:00 開演 (18:30 開場)

豊洲シビックセンターホール

東京都江東区豊洲2-2-18 豊洲シビックセンター 5F
東京メトロ有楽町線「豊洲」駅7番出口より徒歩1分
新交通ゆりかもめ「豊洲」駅改札フロア直結

全席自由

一般 4000円 / 学生 2000円

ペアチケット 7000円

ご予約・お問合せ:

オフィスアルシユ 03-3565-6771 www.officearches.com

イープラス eplus.jp

古典楽器センター 03-3952-5515



ヨハン・バプティスト・シュトライヒャー

Johann Baptist Streicher 1845年製作 跳ね上げ式 80鍵 / C1-g4

19世紀のウィーンを代表するピアノ製作家。ウィーン、ドイツ系のロマン派の作曲家シューベルト、メンデルスゾーン、シューマンなどと深い関係をもつ。バプティストの祖父シュタインはウィーン式アクションの発明で知られモーツァルトと知己があり、母ナネットはベートーヴェンと親しく、まさにウィーンのピアノ音楽界を支えた製作家一族。何層かに巻かれた革巻きハンマー、2本の鉄柱のみで支えられた木製のケース。ドイツロマン派の芳香な響きは夢のよう。

©Kazutoshi Murata



安田久美恵 (やすだ・くみえ) ソプラノ

バロックから古典派の作品やドイツ歌曲を主なレパートリーとして活動。声楽を朝倉蒼生、渡邊明、牧野正人の各氏に師事。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。優秀賞受賞。1993-4年、ウィーンに留学し、オルガ・ワルラ・コロ女史に師事。国立音楽大学音楽研究所研修生としてイタリア初期バロックの歌唱法を学ぶ。1996年、友愛ドイツ歌曲コンクール第2位。ヴィヴァルディ「グローリア」、バッハ「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」「口短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「第一戒律の責務」、ハイドン「ネルソン・ミサ」、フォーレ「レクイエム」など、宗教曲のソリストを多く務める。また近年では、近現代の作品や日本歌曲の演奏、朗読にも取り組む。立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊声楽指導者。

石川洋人 (いしかわ・ひろと) テノール

国立音楽大学声楽科卒業。スイスバーゼル音楽大学大学院、及びスコラカントルムに留学。ディプロム取得。T.コープマン、J.リフキンのマスタークラスに参加、バッハの解釈法を学ぶ。在学中よりヨーロッパ各地のコンサート、音楽祭に出演。ジュネーブ音楽祭において、ミシェル・コルボ指揮、ローザンヌ声楽アンサンブルによるモーツァルト「レクイエム」にソリストとして出演、好評を博す。帰国後、バッハ・コレギウム・ジャパン等に参加の他、NHK・FM名曲リサイタル、同BSクラシック倶楽部出演など、ソリスト及びアンサンブル歌手として国内外で活躍している。戸崎裕子、牧野正人、K.ヴィトマー、E.タブ、G.テュルクの各氏に師事。アンサンブル小瑠璃メンバー。

小倉貴久子 (おぐら・きくこ) フォルテピアノ

東京藝術大学を経て同大学大学院ピアノ科修了。アムステルダム音楽院を特別栄誉賞付き首席卒業。日本モーツァルト音楽コンクール、ピアノ部門第1位。ブルージュ国際古楽コンクール、アンサンブル部門及びフォルテピアノ部門で第1位と聴衆賞を受賞。様々な時代楽器を弾き分けた多彩なコンサートや音楽祭、テレビ、ラジオへの出演も多い。40点以上リリースのCDの多くが朝日新聞、読売新聞などの各新聞紙上や「レコード芸術」誌等で推薦盤や特選盤に選ばれている。平成24年度文化庁芸術祭(大賞)受賞。著書にカラー図解「ピアノの歴史(CD付き)」(河出書房新社)他。シリーズコンサート「小倉貴久子の『モーツァルトのクラヴィアアのある部屋』」好評展開中。東京藝術大学古楽科非常勤講師。<http://kikuko-mdf.com>